

平成29年

第16回

女と男の一行詩

ひとひと



応募者数 397名
応募総数 828点

最優秀賞

子どもができていたらやめちゃうの？
そんな社会をやめちゃうおじ

上司に妊娠報告をしたら、お祝いの言葉ではなく退社届を渡されたという先輩女性がいたと話を聞き、この詩を思いつきました。

氏 天姫さん (短大性)

優秀賞

私の手生かせる社会 目指したい

私は、自分の好きなことがある全ての人が、自分にしかできない力を生かせる社会、差別や偏見なく評価される社会になって欲しいと思い、この作品を作りました。

沼口 瑚紅さん (高校生)

優秀賞

帰宅して疲れて眠る母のよいい
台所に立つ父の姿。

父親が家事を手伝う姿を見て、女性だけが家事や育児をする時代ではないと実感した。

浄土 駿介さん (高校生)

入選

共白髪 支え合う心が 夫婦円満

在りし日の両親を、作品にしました。晩年は、病弱となり、父に支えられていた母。手を継ぎ仲睦まじく、暮っていた姿を今も、懐かしく思い出されます。

戸島 則子さん (一般)

入選

「ありがとう」「素直に言える
世の中に

「ありがとう」…意外と言えるようで言えない。「ありがとう」と言われると自分も喜び相手も喜ぶ。どうか、素直に言える世の中になることを節に願っている。

信太 優希さん (高校生)

入選

自分から変えていこうと思わなきゃ
変わるはずない じゃからじゃ

男女共同参画に関する賞をいただきありがとうございます。初めでの応募で入賞することできてとても驚きました。次の応募ではさらに上の賞を目指します。

高橋 美咲さん (高校生)